

平成28年度 日新小学校

学校評価のまとめ

評価項目		評価結果			自己評価	改善策	学校関係者評価	
		H28職員	H28保護者	H27保護者				
学力	1	学校(教師)は、子どもたちが「わかる」「できる」授業づくりに努めていますか。	3.0	3.2	3.2	個に応じた指導に心がけている。しかし、教員の経験や資質に関わる部分もあり、今後の課題である。	現在取り組んでいる「日新小の授業」の更なる充実を図る。	教員の育成には長い期間が必要。指導力向上に向け、研修の充実を行う。
	2	参観した授業では、日新小の児童はきちんとした姿勢で話を聞いたり話したりできていますか。	3.1	3.2	2.9	取組期間中は良好だが、それ以降は意欲が減退する傾向にある。	教師が粘り強い指導を行う。	指導事項を絞って、継続的に指導することが必要である。
	3	お子さんは、計算や漢字の力が付いていますか。	3.0	3.0	-	学期末に「力だめし」を実施し、努力した児童に称賛を与えている。	平成28年度の取組を継続。	結果も必要だが、取組状況も重視したい。
	4	お子さんは、家庭学習が習慣付いていますか。	2.7	3.1	3.1	学習内容の定着のため、家庭学習に取り組んだ。今後は、その定着が必要である。	平成28年度の取組を継続。	今後も、周りの大人(教師、保護者)が確実な見届けをしていく。
心	5	日新小の児童はお互いのよさを見つけ合い、認め合おうとしていますか。	3.0	3.1	3.1	各学級では、「よいこと見つけ」を行って、褒めて・認める活動を実施し、次への意欲付けを行っている。	平成28年度の取組を継続。	学級での「よいこと見つけ」を校内、そして家庭へも広めていく。
	6	お子さんは、学校や公共のきまりを守って生活しようと心がけていますか。	3.0	3.1	3.4	学校のルールを破るような児童は見られない。左右確認せず横断歩道を渡る。	命を守る訓練の中に、「交通安全」に関わる内容を入れて指導する。	かけがえのない大切な命を守るため、学級指導だけでなく、道徳も含めた指導を行う。
	7	お子さんは、嫌なことを言われたり、されたりしていませんか。	3.0	3.4	3.5	毎学期に「いじめアンケート」を実施し、いじめの未然防止・早期発見に努めている。	平成28年度の取組を継続。	回りでは、いじめによる自殺案件が多発している。子どもから手を放しても目を離さないように。
	8	お子さんは、あいさつをする習慣を身に付けていますか。	3.0	3.1	3.1	地区、登校班長によって挨拶の状況が大きく変化する。班長の指導がキーポイントになる。	登校班の班長指導を充実させる。	高学年の班長しだいである。指導の充実が必要である。また、家庭学習の取組を挨拶でも実施する。
健康	9	学校は、児童に目標を決めて達成するためにがんばろうとする態度を育てていますか。	2.7	3.2	3.4	児童に対し、自分で決定するための時間と場の確保が不十分であった。	グループや学級で、自己決定の場を意図的に設けて、目標設定ややり抜くことを喜びを体感できる場を設ける。	多少回り道かもしれないが、場と時間の保証が必要である。
	10	学校は、児童に体力作りに励む態度を育てていますか。(運動・一輪車など)	3.0	3.4	-	運動場で活発に運動する姿が多く見られている。	平成28年度の取組を継続。	一層、児童による自主的な活動を期待したい。
	11	お子さんは、「早寝、早起き、朝ごはん」の生活リズムを身に付けていますか。	2.8	3.1	3.1	生活リズムチェックを通して、習慣化に取り組んでいる。一部に、ゲームづけの世界から抜け出せない児童もいる。	今以上に、保護者の理解と協力が必要である。懇談や家庭訪問、その他の機会を使って依頼する。	家庭教育学級等で、家庭生活と学力との関連など、具体的な資料をもって保護者に伝えていく。
	12	学校は、児童が「自分の命は自分で守る」意識と力を身に付ける指導に努めていますか	3.0	3.1	3.2	防災士会やPTAと連携したりして積極的に命を守る訓練を実施し、児童一人一人の意識が高まっている。	平成28年度の取組を継続。	現状の取組を継続。
環境	13	学校は、児童が安全で安心して学べる環境整備に努めていますか。	3.0	3.3	3.3	毎月の安全点検とともに、危険を感じた時には素早く対応している。	平成28年度の取組を継続。	遊具等の点検は打音とともに。また、定められた期日に行う。
連携	14	学校(学級)は、学校の教育活動や児童の様子を分かりやすく伝えていきますか。	2.9	3.3	3.3	時に、学校や学年の様子を十分に伝えられていない場合がある。	今後も、ホームページや学校・学年通信で具体的な子どもの姿で伝えていく。	多様なメディアで、一層具体的に情報伝達するとよい。
	15	学校は、保護者の皆様の連絡や相談に応じて、連携を図ろうとしていますか。	3.0	3.3	3.2	子どもの様子に変化が見られた折に、早めに電話で家庭に伝えている。これにより、信頼関係を構築している。	平成28年度の取組を継続。	こまめに連絡取りあうことはよいことである。